



山口県ろうあ連盟だより

～第52号～

発行所/〒747-1221 山口県山口市大字鑄銭司南原2364-1

山口県聴覚障害者情報センター内 社団法人 山口県ろうあ連盟

発行者/赤井 正志

FAX.083-986-2818 (TEL兼)

▼理事 赤井正志
 ション担当 赤井正志
 事務 赤井正志
 桜井洋五郎
 局長 塚原辰彦
 担当 田丸隆宏
 担当 山文亮二
 中山健一
 孝 女性部長 久保淑子
 監事 久保淑子・田丸彦彦

総会では、赤井理事長は「今年度の目標は、手話言語法の早期制定を最重要とし、みんなが力を合わせて積極的に取り組もう」とあいさつをされました。その後、平成25年度事業報告及び決算報告がなされ、平成26年度事業計画案及び収支予算案が審議され、満場一致で承認されました。また、質問や意見も多く出され、熱のこもった定期総会となりました。

一般社団法人移行後初の定期総会 事業・決算報告等承認

6月22日(日)午前10時より山口県聴覚障害者情報センターで一般社団法人移行後初の平成26年度定期総会が開催されました。



▲定期総会の様子

手話言語法制定に向けて

小椋武夫氏が講演

7月5日(土)、山口県聴覚障害者情報センターで手話言語法に関する学習会があり、100名が参加しました。

一般財団法人全日本ろうあ連盟理事の小椋武夫氏に「手話言語法はなぜ必要なのか」「今後の取り組みをどう進めていくか」「議会への請願書、意見書などの手続き」などを説明していただきました。

手話言語法制定運動が進んでいないのは、山口県、島根県だけです。9月議会まであと2ヶ月です。採択100%をめざして頑張らなければなりません。「どう取り組むか」が今後の課題となっています。

(T)



▲手話言語法について説明する小椋武夫氏

「さわやかな信州で夢を語ろう 未来につなげよう」 第62回全国ろうあ者大会開催



▲看板前で記念撮影

「さわやかな信州で夢を語ろう 未来につなげよう」をテーマに、6月12日(日)まで、長野市のビッグハットで第62回全国ろうあ者大会が開催され、山口県から赤井正志さん、塚原辰彦さん、山文亮二さんが評議員として参加しました。全国各地から2728名が集まり、各会場とも前夜祭、アトラクション、青年のつどい、高齢者のつどい、写真コンテスト入賞作品展、バリアフリー展などを楽しむ参加者にぎわいました。

(T)

全国ろうあ者大会に参加して

6月12日(木)～15日(日)にかけて、長野県にて第62回全国ろうあ者大会が開催されました。長野県と言えば、「野沢菜」「信州そば」「唐辛子」と特産物が多く、また緑豊かな自然にあふれるところです。

残念ながら観光までは出来ませんでした。のんびり出来る穏やかな環境は個人的にまた訪れたいと思える場所でした。今大会のテーマは「さわやかな信州で夢を語ろう未来につなげよう」長野県内の美しい自然を紹介したオープニングムービーから大会式典は始まり、その後、研究分科会や青年の集い、高齢者の集いとそれぞれが熱気に含まれていきました。

手話言語法制定運動がきっかけなのか、現在と未来を見据えた内容が多く、今後のろうあ者生活において実りある大会であったと思います。

(Y)

